

## 危機管理産業展(RISCON TOKYO)2011 への出展について

平成 23 年 10 月 19 日から 21 日にかけて、(株)東京ビッグサイトで危機管理産業展 (RISCON TOKYO)2011 が東京都の特別協力、内閣府や気象庁など多数の後援・協賛のもとで開催されました。

緊急地震速報利用者協議会では、平成 19 年度からの連続して出展を行いました。

展示会には、会員の 14 社から出展協力があり、リーフレットの配布などを行いました。

配布したリーフレットの数は約 700 セットで、手にした資料をもとに約 30 分以上も出展会員の説明に聞き入る来場者も見受けられました。

(参加会員：(株)ANET、(株)アレクソン、(株)オールシーソリューション、伊藤忠テクノソリューションズ(株)、(株)エイツー、エヌ・エス・シー(株)、KIT システムズ(株)、(株)シグネット、(株)J コーポレーション、(株)チャレンジ、日本カスタム(株)、(株)水越、明星電気(株)、ユニデン(株))



RISCON 事務局の発表によりますと、3 日間の総入場者数は 63,274 人で、東日本大震災による危機管理への関心も非常に高く、昨年の総入場者数を約 18,200 人も上回りました。

今回の展示会では、防災エリアのスペースが広く取られ、地震対策や帰宅困難者対策及び節電・停電対策のブースが多くあるのが特徴でした。

今回の展示会は、東日本大震災後に開かれた最初の大きな催しで、来場者の緊急地震速報の認知度が非常に高いと感じました。多くの方に緊急地震速報を紹介する RISCON などへの出展は、緊急地震速報の啓発と利用の促進のために良い機会であり、今後とも積極的に対応していきたいと考えます。